

平成27年度 申さん酉さん達の田作り

～第九期大椎っ子田んぼ、第六期あすみっ子田んぼ 脱穀編～

稲刈りも終わり、いよいよ最後の作業、脱穀です。最近では稲刈りと同時に脱穀も機械で行なうため、米作りは稲刈りで終わりと思われがちです。しかし、稲束についているもみを脱穀し、もみすりをして初めて玄米となるということ、また、残ったわらはワラ選り(すぐり)しわらなえなどして生活に必要なわら細工を作って無駄なく稲束を使うことも知ってほしいという思いから昔ながらの機械を使って子どもたちと作業を行なっています。まず、子どもたちは足踏み脱穀機(ガーコンと音がるため、別名ガーゴン)、千歯こき、唐箕といった古い農具に圧倒されます。また、作業で唯一電気を使うもみすり機の性能を見せてもらいビックリしていました。わらなえでは手先を使う作業にはまり、長いロープになるまでわらを編み続ける子どももいました。お米が食べられるようになるまでどれほどの手間がかかるかを体験し、食べ物の大切さについて武井さんから話を聞いた子どもたちの感想です。

◆大椎小学校

☆脱穀をしました。千歯こきやガーコンなどいろいろな機械がありました。最初にわらなえをしました。難しかったけど、なれるとだんだんわらなえができてきました。次に脱穀しおわったもみに混ざったわらをとりぞく機械やもみすり機を見学しました。もみすり機を使うと、もみがむけていて玄米になっていました。もみがらには線があって、玄米もよく見るとその模様がありました。最後に脱穀をしました。足踏み脱穀機をリズムよく足で動かして稲束からもみだけはずしました。それでも稲束にもみが残っ

ていたの、手でとりました。作業したシートにもみや玄米が落ちていたので、1粒も残らないようにと教えられ、米をひろって集めました。早く自分たちで作ったお米を食べてみたいなと思いました。(H.A)

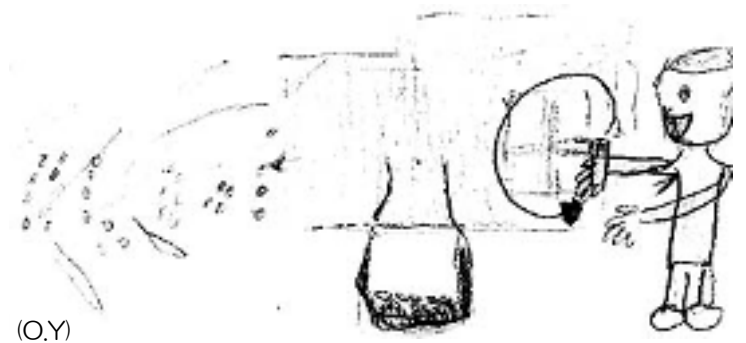
☆谷津田から運んだ稲を千歯こきやいろいろな機械を使って玄米までにする作業をしました。いろいろな機械の中ですごいなと思ったのはガーコンという機械です。また、千歯こきもつかいました。これらの機会を使ったので稲束からかんたんにもみがとれました。初めてつかったり見たりできたのでよかったです。(T.K)

☆脱穀ではいくつもの機械を使いました。脱穀をするためには、足踏み脱穀機と千歯こきという機械を使いました。機械を使うのはとても大変だったけど、機械の仕組みを知ることができたのでよかったです。脱穀をしたあと稲束に残ったもみを手でとったあと、わらすぐりをしてわらをきれいに整えました。つぎにわらなえというわらをあんでいく作業をしました。最後の説明で食べ物の大切さを知ることができてこの作業をやってよかったです。(B.Y)

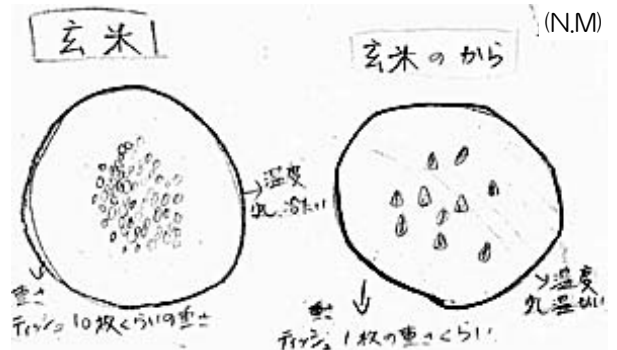
☆6月から育ててきた稲が大きくなり、実った稲束からもみはずす脱穀という作業をしました。ガーコンでわらともみとに分けました。わらを使ってわらなえをしました。4本のわらを2つに分けてあんでいきました。私は脱穀までをふりかえり、お米づくりは大変だなと思いました。(K.H)

☆私たちが作ったお米の脱穀をしました。今回もボランティアのお母さん達がたくさん来てくれました。たくさんのかいがあるってびっくりしましたが、とてもワクワクしました。1つ1つの作業ごとに機械の役割があって、これらの機械を使ったり、さわったり、見たりすることができてよかったです。ふだんさわることができないものなのでうれしかったです。脱穀は思った以上に大変でした。最初は4時間も使ってやる必要はない?と思ったけど、実際4時間ないとできませんでした。今日の作業で一番楽しかったのはわらなえです。また脱穀もしたいなと思いました。(I.M)

☆いろいろな機械を使って脱穀をしました。最初は難しかったけれど、なれていくうちにだんだんコツをつかんでかんたんにできるようになりました。もみすり機は、機械の中に風車がいっているのを見せてもらいました。もみすり機は最初のもは1500キロもあったらしいのですが、今では28キロになったそうです。

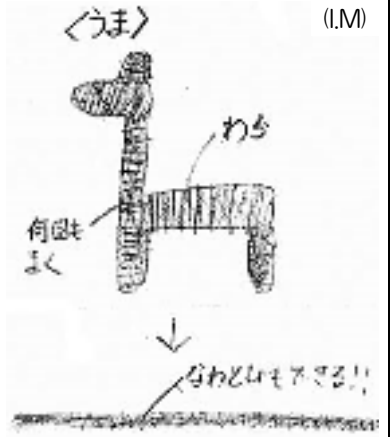


(O.Y)



(N.M)

次に脱穀をおわってできたわらでロープを作りました。作るのとはとてもむずかしかったです。最後に脱穀をしたあとのもみとわらくずとをふるいを使って分ける作業をしました。友達と協力したので、わらくずともみとをきれいに分けることができました。そのもみ1つぶから玄米をとりだし、食べてみたのですが固くて味はしなかったです。楽しかったです。(N.S)



◆あすみが丘小学校

☆今日はあすみ小で脱穀をしました。私は白組なので、初めに米とカラを分ける機械を観察しました。その米とカラを分ける機械は、1000年も変わらない形と武井さんから聞いてびっくりしました。お米のカラはざらざらで、触った後は手がチクチクしました。お米はさらさらしていました。あともう一つ、カラとお米を分ける機械がありました。1000年も前からある機械よりもとても早くできるそうです。だけど、電気が必要だそうです。私は、電気の必要な機械よりも1000年前からあるものの方が、昔ながらの温かみがあっていいと思いました。次にお米と食べられない葉を分ける作業をしました。まず一つ目は、丸い所を足で踏み、回して米と葉を分けました。二つ目は、とがっている所から入れて引いてを繰り返して、米と葉を分けました。一つ目と二つ目では、一つ目の方が早く分けられるそうです。世界中には、ごはんが食べられなくて死んでしまっている人が2秒に一人いると聞いて、これからは、ごはんを残さず食べようと思いました(U.I)。

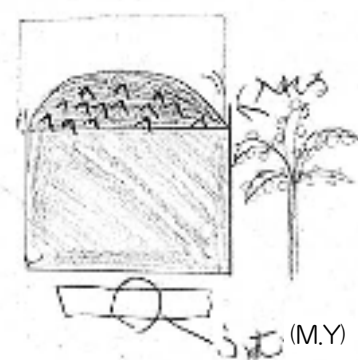
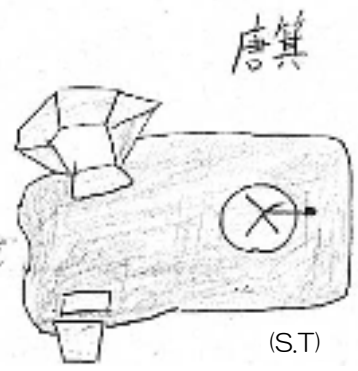
☆私は、脱穀作業をするのが楽しみでした。武井さんがやっていた風選の機械の仕組みが分かって、すごいなと思いました。稲の穂は形は全部同じだけど、重さは違うものがあり、重いと実が詰まっています、軽いと実が入っていません。草や葉ともみを分けるのは、最初に足踏み脱穀機で、ある程度取ってから千歯こきで取れるだけ取り、その後手でしっかり取り除きます。玄米はとっても硬く、もみ殻はパリパリしていました。もみを取り除かれた草は、茎と葉に分け、「来年の春からの田んぼの肥料にするので、化学肥料など一切使っていません。」と武井さんが教えてくれました。世界には、餓死する人がたくさんいると言っていたので、ご飯を残さず食べる事を心がけたいと思います(K.T)。

☆私は初めに千歯こきを使いました。思った以上に力が必要で大変でした。次に足踏み脱穀機を使って脱穀をしてみると、足のタイミングが合わなくて最初は苦労したけど、だんだん慣れてきてスイスイ出来ました。

それから白組と交代して風選を見ました。唐箕の仕組みを色々な角度から見て考えました。そして重い物は風で飛ばされずに手前へ、軽い物は風で飛ばされて奥へ、もっと軽い物は風でとても飛ばされて左に落ちる事が分かりました。次にもみ殻と玄米を分けてその分けた玄米ともみ殻を触ってみました。玄米は硬くて冷たく、もみ殻は軽くて温かったです。また、今回武井さんの話を聞いて、これからはお米だけでなく、野菜なども残さないようにしようと思いました(A.K)。

☆最初に私は、ひもでしばってある稲を持って足踏み脱穀機を使いました。思っていたより片足で作業するのが大変だったけれど、簡単にもみを取る事が出来ました。風選の作業では、仕組みを自分で推理出来て、草ともみを分けるのにとっても良い道具だなと思いました。もみすりでは、もみ殻と玄米に分けた時、もみすりは触った時にちくちくしてとても軽かったです。けれど玄米は、少しもみ殻より重くてサラサラしていた。今日やった作業は今までで初めてやったけれど、とても良い経験になった(M.H)。

☆武井さんが、落ちている米があったら食べても言いと言ったので、食べて50回歯で噛みました。最初は味がしないけれど、どんどん噛んでいくと味が出ました。もみ殻と玄米を触ってみました。もみ殻は思ったよりも、軽く握ると落ち葉を握るような感触でした。玄米は、触るともみ殻よりも重く、握ると小さくつぶつぶしていました。玄米と葉を分ける時に、稲みたいな雑草を見つけました。武井さんに聞くと、稲科の雑草でした。食べる事はできるけれど、苦いそうです。その代わりに栄養がいっぱいあるそうです。友達と一緒に食べる為に干しました。自由帳に観察日記を書きます(T.N)。





里山たんけんレポート

第190回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2015年11月1日(日) 晴れ

初めての参加者がいらしたので集合時に谷津の成りたちを県立千葉高校の生物の先生、田中正彦さんから説明していただきました。今日は秋盛りの谷津観察と引き続いてのトンボの調査です。特定外来生物アライグマ捕獲用に仕掛けた箱わなにニホンイタチがかかっていたので観察して、放してやりました。ニホンイタチは雄と雌では大きさが大きく違い雄は雌の3倍ほどの体重があるということで、雌と思われました。「鼬の最後っ屁」ということわざがありますが、逃れようとしたのか周辺は悪臭が漂っていました。田にはアライグマの足跡が多数残っていました。また、林内ではノウサギの糞も見られました。田の周辺ではヤナギタデの葉をかじって「蓼食う蟲も好き好き」のことわざを体感したり、ハッカの葉を味わったりしました。山林内ではシロヨメナが咲き、ヤブコウジの仲間の実が色づきはじめていました。トンボは6種68頭を捕らえ、内60頭にマークをして放ちました。今回もマーク済の個体はいませんでした。シオカラトンボ、オオシオカラトンボは姿を消し、多数を誇っていたノシメトンボも減少、代わってアキアカネが半数以上を占めました。ペアーで産卵中のものが多く捕獲は憚われ、見逃してやりました。山地から戻り産卵の盛期のように思えました。

(参加者 大人14名、高・大学生3名、小学生3名、幼児2名; 報告: 網代春男)

第184回 下大和田 YPP「もみすり」(兼、第12回米づくり講座)

2015年11月14日(土)~15日(日) 雨

今年のもみすりは千葉市少年の家で行いました。あいにく冷たい雨が激しく降っていましたが、軒下を貸していただけだったので、大丈夫でした。2台のもみすり機を並べ、簡単なコシヒカリからスタート。モミがらが取れて出口から玄米が出てくる様子に子どもたちは興味津々、モミを投入する役を順番に務めました。“のぎ”が長い緑米や赤米は投入口にひっかかるのでちょっと難儀しましたが、夕方までに今年育てたお米のもみすりをすべて終わることができました。途中から子どもたち向けにワラを使ってリースづくりをするプログラムも用意。そして、作業が終わったところで夕食はみんなでカレーライスを作りもして、お楽しみいっぱいの日でした。そのまま自然の家に泊まった方も大勢いました。

(参加者 大人27名、小学生11名、幼児6名、報告 高山邦明、写真 田中正彦)



番外編 小山町 YPP「赤米の稲刈り・黒米の脱穀」

2015年11月3日(火・祝) 晴れ

学校たんぼに参加した小学生の「もっと稲刈りをしたい」というリクエストに答えて赤米の稲刈りをしました。熱心な子は「おもしろい!」と刈り続け、あっという間に予定したたんぼの稲を全部刈り終えてしまいました。時間があつたので、足踏み脱穀機を使って干していた黒米の脱穀もしました。小学生の活躍に大助かりでした。

(参加者 大人6名、小学生5名、報告 高山邦明)

第125回 小山町 YPP「緑米の稲刈り」

2015年11月15日(日) 雨

あいにくの雨の中、最後の緑米の稲刈りに着手しました。日当たりがあまり良くないたんぼで、昨年到现在残暑がほとんどなかった今年も緑米の実りが今ひとつで、斜面林沿いの特に日が当たらない場所は中身のない“しいな”ばかりでした。

この日だけでは刈り終えることはできませんでしたが、その後、有志で刈り進め、11月29日に稲刈りがすべて終わりました。あとは脱穀ともみすりです。

(参加者 大人3名、報告 高山邦明)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 11月 3日 ジョウビタキが鳴き交わす。あし原からはアオジの地鳴きが聞こえてきた(高山)。
11月 15日 今季はじめてツグミの声を聞く(高山)。
11月 21日 連結したオオアオイトトンボがオダに止まっていた(高山)。
11月 30日 ルリビタキの音がした。林ではカラ類やメシロ、エナガ、コゲラなどの混群がにぎやか(高山)。

下大和田

- 11月 1日 観察会時アオジの声を聴く。イタチがアライグマのわなにかかり放す(網代)。
11月 3日 フジの古木に毎年発生するヒラタケがでた。フジは伐採されたので来年からは見られないかも(網代)。
11月 7日 古代米脱穀の日、シネズミ(トガリネズミ科)をこども達が捕まえた。千葉市の哺乳類に記録がない(千葉市レッドリスト2004年)が下大和田では昨年も見られている。(網代)。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ? と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなど思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先(いずれも): ちば環境情報センター (TEL&FAX: 043-223-7807 E-mail: hello@ceic.info/)

ご注意: ・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないでください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 185 回「収穫祭」(第 13 回米づくり講座) 第 186 回「どんど焼きと昔あそび」

今年の米づくりをしめくくる収穫祭です。みんなで育てた緑米を臼と杵でおもちつき、コシヒカリの試食など、恒例のお楽しみ会です。そして、年明けはどんど焼きからスタート。暖かな火を囲みながら昔ながらのけん玉やベイゴマなどを楽しみましょう。

- 日時: 収穫祭 2015年12月12日(土) 9時45分~14時
どんど焼き 2016年1月16日(土) 9時45分~14時 *いずれも小雨決行
- 場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。
また、ご連絡いただければ地図をお送りします。)
- 集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(JR千葉駅10番成東あるいは中野操車場行きのみちばフラワーバスで45分<千葉駅発8:25、8:40など> 料金は520円)
- 持ち物: 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物、収穫祭ではお皿・お椀・はし、
どんど焼きの時は、昔あそびの道具、どんど焼きで燃やしたいもの(正月飾り等)など。
- 参加費: 収穫祭 小学生以上一律500円(食材費を含む特別料金です)、小学生未満無料
どんど焼き ちば環境情報センター会員および家族100円、一般300円、小学生未満無料
- 主催: ちば環境情報センター 共催: ちば・谷津田フォーラム

▼第 192 回 下大和田 1月の谷津田観察会とごみ拾い

例年新春に巡っている下流部へ谷津の現状を見ながら、バードウォッチングをします。

- 日時: 2016年1月10日(日) 9時45分~12時 ☆小雨決行
- 場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上)
- 集合: 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に9:45(下大和田 YPP に同じ)
- 持ち物: 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など
- 参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
- 主催: ちば環境情報センター・ちば・谷津田フォーラム

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

- 日時: 2016年1月9日(土)、1月15日(金) いずれも9時45分~15時
- 場所: 千葉市緑区下大和田谷津田(同上) 持ち物: 飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物
- 主催: ちば環境情報センター

▼第 126 回 小山町 YPP「もみすい」

今年収穫したお米をもみすり機を使って玄米にします。近隣の小学校で行いますので場所にご注意ください。

- 日時: 2015年12月27日(日) 10:00~12:30、小雨決行
- 場所: 大椎小学校(千葉市緑区あすみが丘)
- 持ち物: 飲み物、帽子、軍手、敷物。
- 参加費: 100円(小学生以上、資料代など)
- 主催: ちば環境情報センター。

編集後記 旧暦10月10日に東日本各地で十日夜(とおかんや)と呼ばれる収穫祭が行われていました。稲刈りの終わった田んぼを後にして田んぼの神様が山に帰る日で、かかしを田んぼから上げて供え物をして労をねぎらったそうです。今年の十日夜は11月21日。下大和田では早々に稲刈りが終わっていましたが、小山は翌週に刈り終わったので、神様に1週間ほど残業をさせてしまいました。感謝ひとしおです。(高山 邦明)